

人材コンサルタントによる 日本語話者のキャリアセミナー

1. 概要：

2020年2月15日に現地人材コンサルティング会社が日本語話者向けにキャリアセミナーを開催した。セミナーは日本語話者の就職活動を支援する目的で企画され、EPAや技能実習制度を通じた日本での滞在経験者、日本語能力試験に合格した日本語話者などが参加した。現地における日本語話者の就労意欲や人材コンサルタント会社の役割を伝える事例を紹介する。

2. 基本情報（イベント概要）

イベント名：Career Seminar for Japanese Speakers
会期・場所：2020年2月15日、JohnClements社 会議室
主催者：JohnClements Consultants PERSOL Philippine
規模：39人のフィリピン人日本語話者が参加
イベント概要：人材コンサルティング会社によるフィリピンにおける日本語話者の就職活動サポートイベント

3. 詳細内容

マニラ首都圏マカティ市の人材総合コンサルティング会社JohnClements社は2月15日に日本語話者向けのキャリアセミナーを開催した。同社のジャパンデスクは日系企業に日本語話者などの人材紹介を行っており、日系企業で働くことを希望する日本語話者の就職を支援するためセミナーを企画した。今回が初の試みだという。



イベントの様子

〈日本語話者のキャリアを考える機会〉
イベントの冒頭では、日本語教育の推進やフィリピン政府による積極的な人材の送り出し、日系企業の進出といった背景からフィリピンにおいてもまとまった日本語話者の人口や国内での需要が存在するなかで、日本語能力をどのようにキャリアにつなげられるのかを考える機会として活用してもらいたいという趣旨が説明された。



主催者による冒頭の挨拶

〈人材コンサルタントによるプレゼンテーション〉
フィリピンの日系企業の人材採用や労務に関するサポートを行うコンサルタントがプレゼンターとして登壇し、参加者に業界や求人動向、給与相場の解説のほか、日系企業の面接を受ける際のアドバイスを行った。



プレゼンテーションに聞き入る参加者

〈多様な参加者〉

当日はマニラ首都圏とその周辺の地域から、日本語習得者やバイリンガルの日本語話者39名がセミナーに参加した。日本語能力試験の5級から2級の合格者が参加し、3級合格者が最も多かったようだ。フィリピン国内で日本語を学習した人だけでなく、日比経済連携協定（EPA）により介護福祉士資格を取得した人や日本の技能実習制度で終えて帰国した人、日本に関する研究を行う大学院生など多様な日本語話者が参加した。



Are You on the Right Career Track?

「正しいキャリアについているか？」
と題されたプレゼンテーション

＜フィリピンにおける日本語話者の需要＞
フィリピンに進出している日系企業を業界別で見ると製造業が4割を占めており、通訳や秘書の需要があるとのことだ。また、日系企業に限らず日本と取引している外資系BPO企業でも日本語スピーカーの需要が高いようだ。そのような理由からマニラ首都圏や近郊の工業地域にある企業の求人が多いようだ。企業からは少なくとも日本語能力試験3級が求められることが多く、資格や日本での就労・留学経験があると有利だそうだ。

＜日本語話者の給与相場＞

また、資格別でみた場合、日本語能力検定の3級（N3）合格者は月給3万ペソ、2級（N2）や1級（N1）は月給5-8万ペソが相場となっていることや、国家資格（エンジニアなど）のような他の資格を持っているとより金額が高くなるとのことだ。

＜人材コンサルタントによるアドバイス＞

日系企業は面接を重視する傾向にあるようで、対面での面接を希望する企業も多いとのことだ。求職者の話し方や人柄が重要な採用基準のひとつとなっているからであり、面接の受け答え次第で面接官への印象が大きく左右するため、面接の流れを理解することは重要であるとコンサルタントは解説した。具体的には自分の経歴は過去から直近の順番で話す、志望動機を明確に述べることなど具体的な例を挙げながらアドバイスが提供された。

John Clements
Your Partner for Life.

3. Interviews with Japanese

Before the Interview

- Check the Company Website
- Make Sure to Arrive 15 min earlier
- Bring your UPDATED CV and Memo pad

Interview Flow

Self-introduction

Working History

Reason

Q&A

During the Interview

- Speak Slowly and Clearly
- Concise but Detailed
- Be honest and Frank



面接に関する解説資料



<質疑応答セッション>

セミナーの質疑応答では、参加者から日系企業から求められる日本語レベルや、修士号や博士号といった学位が評価されるのかといった質問が上がった。

求人に応募する際は、受けようとする企業の情報や事業内容を事前に理解することを勧めるアドバイスが日本人コンサルタントからなされた。

また、セミナー終了後にはコンサルタントによる参加者への個別面談が行われ、個人の日本語レベルや希望に沿った個別の就職アドバイスが行われた。



参加者にアドバイスをするコンサルタント

<参加者の声>

主催者によると参加者からは好評で、同様のイベントの開催を要望する声も受けたそうだ。セミナーに関する参加者へのアンケートでは、「自分自身が企業に対して何を必要としていることが分かった」といった回答をうけたようだ。

<日系企業の参加も視野に>

セミナーの企画を行った人材コンサルタントは、「日本語話者に一定のキャリアビジョンを提供できたと思う」とイベントの感触を話した。労働市場からみた日本語を話せることのメリットや語学の活かし方を日本語話者自身が理解し考えるきっかけになった様子が伺えた。

今回は日系企業に日本語話者の紹介を行うコンサルタント側によるプレゼンテーションが行われたが、「日系企業の採用担当者にも登壇してもらえるようなイベントの実施も検討している」と人材コンサルタントは今後の展望を話す。

日本語話者の日系企業への就労意欲と現地の人材コンサルタント会社が担う役割の広がりを知る機会となったと同時に日系企業が参加することでジョブフェアへ発展していく可能性がみられた。

以上